

事業名	つながりサポート事業
事業の趣旨・目的	誰にも相談することができず孤立している人や就労や就労前の段階となる社会へのつながりを回復するため、ひと息つく事ができ、次のステップへ進むための学びや、情報交換できる居場所の提供を行いながら、ケースによっては相談機関や関係団体の支援につなげる。電話や窓口での相談が日常的に困難な方達が相談につながっていないケースがいまだ数多く存在している可能性がある中で、SNSやメール等の相談できるツールを増やし、困りごとやその背景に寄り添いながら、必要な支援へとつなげる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催。 ・他の行政機関や団体と連携して実施する個別相談会 ・相談等の一環として、生理用品の提供。 ・SNS等を活用した相談支援。 ・ハローワークと連携した就労サポート。 ・事業スタッフの傾聴や意思決定等についてのエンパワーメントスキルアップ研修の実施。
事業効果及び効果検証の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・困難や不安、孤立した状況を解消し女性がエンパワーメントし次のステップへ進むことができる。 ・行政相談に繋ぐ前の窓口として女性の誰もが立ち寄ることができる居場所を提供することで、個々に必要な支援に繋ぐことができる。
目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>【目標】配偶者等からの暴力の相談窓口を知っている人の割合(60.00%)【実績】51.00% →相談をしたい方や声に出せる方は、行動し探して相談窓口にとどり着くことができるが、そうではない困難な方を支援に繋げるためには地道な周知活動が必要である。</p> <p>【目標】ハローワーク等の就労支援に繋がった人数(36人)【実績】24人 →年度当初は、周知活動が足りず、ハローワークへの利用件数が低かったが、ハローワークの窓口相談や職業訓練の説明会等を定例で開催することで、現在、利用する人が増加傾向にある。</p>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・困難な問題を抱える女性達が気軽に立ち寄れる居場所は、足を運びやすい、利便性がある所が必要と感じるため、利用者の(住居)地区別統計を行いながら、今後の居場所づくりに反映させたい。 ・スタッフの経験や思いを形にしながらいずれもスキルアップを行いたい。 ・利用者に関わることで互いにエンパワーメントを行いたい。